

平成30年5月22日

技能五輪大会関係者 各位

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
職業能力開発総合大学校

### 技能五輪大会等関係者育成のための研修コースのご案内

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当校の業務運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆様方におかれましては、本年11月に開催される第56回技能五輪全国大会出場に向けて日々厳しい訓練に取り組まれていることと思います。今般、当校では、技能五輪大会等に出場する予定の方々を対象とした研修コースを計画しましたので、ご案内いたします。特に、今年度は、技能五輪国際大会出場を目指す全ての方々を対象に、国際大会に向けた準備を計画的に進めていただけるよう様々な研修コースを企画しております。

つきましては、業務ご多忙の折とは存じますが、本研修のご受講を検討いただきますようよろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 ご案内する研修コース

別紙「平成30年度 技能五輪大会等関係者育成のための研修コース一覧」のとおりです。  
なお、研修内容の詳細は各コースのカリキュラムをご参照ください。

#### 2 研修申込について

##### (1) 申込方法

別添の受講申込書を FAX (042-346-7478) 又は メール (ptu04@uitec.ac.jp) にてご送付ください。

##### (2) 申込期限

原則、各コースの開講日の3週間前までにお申し込みください。

### 【お問い合わせ先】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
職業能力開発総合大学校

研修部研修課 研修計画係 西野、榎本

(TEL) 042-346-7234 (FAX) 042-346-7478

(E-mail) ptu04@uitec.ac.jp

## 平成30年度 技能五輪大会等関係者育成のための研修コース一覧

### 【技能五輪全国大会関連コース】

No.	コース番号	コース名	会場	月	期間	日数	定員	受講料
1	6120	技能五輪全国大会出場選手のためのメンタルトレーニング法	職業能力開発総合大学校	6月	平成30年06月07日(木) ~ 平成30年06月08日(金)	2	20	9,000
2	6121	技能五輪訓練データの科学的分析とその活用法	職業能力開発総合大学校	8月	平成30年08月27日(月) ~ 平成30年08月28日(火)	2	30	7,500
3	5436	次世代技能者の技能レベル向上のための指導法(建築大工編(H30改訂))	職業能力開発総合大学校	1月	平成31年01月15日(火) ~ 平成31年01月16日(水)	2	50	6,500
4	2210	次世代技能者の技能レベル向上のための指導法(手仕上げの基本と機械組立て編)	職業能力開発総合大学校	2月	平成31年02月21日(木) ~ 平成31年02月22日(金)	2	6	9,500

### 【技能五輪国際大会関連コース】

No.	コース番号	コース名	会場	月	期間	日数	定員	受講料
1	6122	熟練技能者の指導法と能力評価(基礎) ー技能五輪国際大会関係者養成研修ー	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部名古屋事務所	6月	平成30年06月21日(木) ~ 平成30年06月22日(金)	2	20	7,500
2	6123		職業能力開発総合大学校	7月	平成30年07月03日(火) ~ 平成30年07月04日(水)	2	20	7,500
3	6124		岡山第一セントラルビル	7月	平成30年07月09日(月) ~ 平成30年07月10日(火)	2	20	7,500
4	6125	技能五輪国際大会に向けたコミュニケーション強化法(基礎英語編)	職業能力開発総合大学校	7月	平成30年07月23日(月) ~ 平成30年07月24日(火)	2	20	6,000
5	6126	技能五輪国際大会で好成績を残すために必要な実践的訓練法	職業能力開発総合大学校	12月	平成30年12月18日(火) ~ 平成30年12月19日(水)	2	20	7,500
6	6127	技能五輪国際大会に向けた職種別技術英語用語集の作成とコミュニケーション法	職業能力開発総合大学校	12月	平成30年12月20日(木)	1	20	6,000
7	6128	熟練技能者の職業能力開発とその指導法の実際ー技能五輪国際大会アクセスプログラムVA1対応ー	職業能力開発総合大学校	1月	平成31年01月30日(水) ~ 平成31年01月31日(木)	2	30	7,500
8	6129	技能五輪国際大会に向けたコミュニケーション強化法(ロシア語・応用英語編)	職業能力開発総合大学校	2月	平成31年02月19日(火) ~ 平成31年02月20日(水)	2	20	6,000
9	6130	技能五輪国際大会本番を想定した選手・エキスパート等強化研修(実践英語編)ー議論に負けない力をつけるー	職業能力開発総合大学校	3月	平成31年03月14日(木) ~ 平成31年03月15日(金)	2	40	15,000 (予定)

### 【若年者ものづくり競技大会関連コース】

No.	コース番号	コース名	会場	月	期間	日数	定員	受講料
1	4707	若年技能者の技能レベル向上のための指導法(ITネットワークシステム管理編)	職業能力開発総合大学校	1月	平成31年01月15日(火) ~ 平成31年01月16日(水)	2	15	6,000

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6120	技能五輪全国大会出場選手のためのメンタルトレーニング法	平成30年 6月 7日(木)～ 6月 8日(金)	20	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料		
		9,000円		
研修のねらい 及び 到達目標	<p>技能五輪全国大会に出場を目指す全ての職種の方々を対象に、技能五輪選手のメンタルに精通している講師が、技能五輪選手に求められるメンタルについて、事例やデータを交えながら解説します。同時に、選手が理解すべき知識、習得すべきスキルを明らかにし、実際のトレーニング方法を紹介して、そのノウハウと育成の在り方を習得します。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技能五輪全国大会に向けて選手のメンタル面を考慮した指導ができる。</li> </ul>			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会や各種競技大会に関する基本的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 技能五輪選手のメンタルとは何か (技能五輪選手のメンタルを認知と感情の点から捉え、作業中の選手がなぜ緊張するのかを、事例分析を交えて、解説します) (1) ハイプレッシャー状況での作業 (2) 認知と感情と緊張の関係 (3) 感情コンダクト・スキルの4段階成長モデル		1 H	1 H
	2 感情の構造と緊張を生み出すメカニズム (感情の種類とその役割、及びメカニズムを解説し、選手が自分自身の感情の構造を理解する方法を実践します) (1) ポジティブ感情とネガティブ感情 (2) 感情のバランスと感情負荷 (3) 覚醒水準 (4) ABCモデル		2 H	1 H
	3 感情のバランスを回復するスキル (作業中に感情のバランスが崩れた時、バランスを回復するスキルを複数持っていることが重要です。身体に働きかける方法、認知に働きかける方法を実践します) (1) 心拍変動深呼吸等のリラクゼーション法 (2) 注意制御 (3) 思考転換法 (4) セルフ・トーク		2 H	2 H
	4 感情コンダクト・スキル (予防及び解決・回復の3つのアプローチを通して、感情負荷の影響を抑え作業に集中する為のコンダクト・スキルを習得します) (1) 感情の天気予報で、感情負荷の高まりを予防する (2) 解決コーピングで、感情負荷の解決を図る (3) 情動コーピングで、感情のバランスを回復する		2 H	1 H
			7 H	5 H
リニューアル の概要（変更 点）				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	菊池拓男（情報通信ユニット：技能五輪国際大会職種管理マネージャ） 外部講師（羽田野健：臨床心理士）			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6121	技能五輪訓練データの科学的分析とその活用法	平成30年 8月27日(月)～ 8月28日(火)	30	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）		受講料 7,500円	
研修のねらい 及び 到達目標	<p>技能五輪全国大会の指導者等を対象に、どのような訓練データを取得することで効果的な訓練実施が可能なのか、取得したデータをどのように分析すれば目標到達に向けた精度の高い訓練計画が策定できるのか、など技能五輪における訓練を科学的に実施するための研修です。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能五輪全国大会の各種訓練データ取得の必要性と分析法について理解できる。</li> <li>・訓練データを解析し活用することで効果的な訓練計画が策定できる。</li> </ul>			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会に関する基本的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目 ( 予 定 )	講 義	実 技 ・ 演 習	
	1 技能五輪訓練とビックデータ (1) 技能五輪訓練における指導上の問題点を探る (2) 技能五輪訓練にビックデータを活用する (技能五輪訓練にデータ分析がなぜ重要なのかを解説します)	1 H	2 H	
	2 訓練データの種類とその取得法 (1) 訓練データの種類を理解する (2) 訓練データを取得する (3) 技能を科学する (技能五輪訓練で取得できるデータの種類、その取得方法について習得します)			
	3 訓練データの分析法 (1) 訓練データを分析する (3) 訓練データを科学的に解析する(統計的手法) (統計データを正しく読み取り、そこに眠ったデータを探る方法を習得します)	2 H	4 H	
	4 訓練データを活用した指導法 (1) 好事例を知る (2) 指導法を策定する (実際にどのように訓練データを用いて訓練を行えば効果的なのか、その方法について考察します)	1 H		
	5 研修効果を職業訓練に展開するためのディスカッション (1) 意見交換(指導法) (各受講者の指導上の問題点を訓練データを用いた指導法により解決できないか等、検討を行います)		2 H	
		4 H	8 H	
リニューアルの概要(変更点)	技能五輪全国大会に出場する選手を指導する方に向けた、技能五輪全国大会の指導を科学的に行う初めての研修となっています。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	菊池拓男(情報通信ユニット:技能五輪国際大会職種管理マネージャ) 遠藤雅樹(情報通信ユニット:技能五輪全国大会競技委員) 山下龍生(技術基礎ユニット:技能五輪全国大会競技委員) 石川 哲(技術基礎ユニット) 百名亮介(技術基礎ユニット) 外部講師(羽田野健:臨床心理士)			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
5436	次世代技能者の技能レベル向上のための指導法（建築大工編（H30改訂））	平成31年 1月15日（火）～ 1月16日（水）	50	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料		
		6,500円		
研修のねらい及び到達目標	<p>本研修では、これまでの技能五輪課題（建築大工職種）に含まれる技能要素を分類・整理・把握するとともに、近年の競技課題に必要な高度な規矩術を要する部材の展開法、考え方を習得することを目指します。</p> <p>（到達目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築大工職に含まれる技能要素を分類・整理できる。</li> <li>・競技課題の展開図の作成ができる。</li> </ul>			
最低限必要な知識	取り扱う課題の難易度が高いため、規矩術についての知識（一級技能検定と同等の知識）を有していることが望ましい。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 これまでの技能五輪課題における技能要素の分類・整理 （1）技能五輪課題の概要 （2）平面形状、勾配、部材数などによる分類 （3）斜材（隅木、垂木、振れ垂木、破風など）の出題傾向			1 H
	2 競技課題アンケート結果の報告 （1）得点分布、練習量など （2）難易度（現寸図、墨付け、部材加工）			2 H
	3 難易度の高い部材の展開法 （1）展開図の作図 1 （2）展開図の作図 2 （3）展開図の作図 2			6 H
	4 技能五輪課題への取組事例報告 （1）取組事例報告 1 （2）取組事例報告 2 （3）取組事例報告 3			2 H
	5 習得度の確認 研修成果を訓練へ効果的に展開するためのディスカッション （テキスト、指導法、ポイント等）			1 H
			0 H	12 H
リニューアルの概要（変更点）				
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	建築施工	躯体工事	木造軸組	
担当教員（ユニット）	前川 秀幸、塚崎 英世、外部講師 （建築施工・構造評価（木造）ユニット）			
使用する機器等	プロジェクター、書画台、製図機器、さしがね、直定規、三角定規			
受講者が用意するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
2210	次世代技能者の技能レベル向上のための指導法（手仕上げの基本と機械組立て編）	平成31年 2月21日（木）～ 2月22日（金）	6	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料		
		9,500円		
研修のねらい及び到達目標	技能五輪上位入賞者による手仕上げ作業の基本とその指導ノウハウについて学び、今後の職業能力開発施設における効果的な技能・技術の指導に役立てることができます。また、技能五輪全国大会「機械組立て職種」で行われている競技内容について紹介し、より高いレベルの手仕上げ作業を理解することで、次世代の技能者育成に役立つノウハウを身に付けることができます。 （到達目標） ・手仕上げ及び機械組立て作業について指導できる。			
最低限必要な知識	機械組立てに関する基本的な知識及び技能・技術を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）	講義	実技・演習	
	1 技能競技会「機械組立て」職種の概要 （1）競技大会の変遷と動向 （2）競技課題と実施要領 （3）使用機材と持参工具 （4）採点基準と競技規則	1 H		
	2 競技課題製作のための取組方 （1）競技課題の意図 （2）課題製作のための工程設計と時間配分 （3）機械組立てスキル指導上の留意点	1 H		
	3 技能五輪上位入賞者の実演から学ぶ機械組立てのノウハウ （1）やすり作業のデモンストレーションと指導上のポイント （2）基準出し作業のデモンストレーションと指導上のポイント （3）各種形状の仕上げ作業のデモンストレーションと指導上のポイント （4）仕上げ精度の検証法と評価法 （5）質疑応答	1 H	8 H	
	4 効果的な指導法に係るディスカッション （1）技能者育成に係る訓練環境、訓練計画 （2）技術・技能指導の重点項目 （3）その他	1 H		
		4 H	8 H	
リニューアルの概要（変更点）	機械組立て職種の中でポイントになる手仕上げ作業について理解を深め、ノウハウを習得できます。普通課程及び専門課程などにおいて、技能競技大会課題を活用し、若年者の技能レベルの向上を図ろうとしている指導員に最適の研修コースとなっています。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2		職務の内容
	機械組立 機械組立	組立 組立		機械組立 組立準備
担当教員（ユニット）	太田 和良、岡部 眞幸、外部講師（NC・CAMユニット）			
使用する機器等	作業バイス、各種やすり、きさげ、けがき用具、各種測定具、各種定盤、作業台、その他の手仕上げ用器工具			
受講者が用意するテキスト	『ザ・手仕上げ作業』（日刊工業新聞社、ISBN978-4-526-07500-1、2,376円）			

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6122	熟練技能者の指導法と能力評価（基礎） －技能五輪国際大会関係者養成研修－	①平成30年 6月21日(木)～ 6月22日(金)	20	2
6123		②平成30年 7月 3日(火)～ 7月 4日(水)		
6124		③平成30年 7月 9日(月)～ 7月10日(火)		
開催会場	①(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部名古屋事務所（名古屋市中区） ②職業能力開発総合大学校（東京都小平市） ③岡山第一セントラルビル（岡山市北区）		受講料  7,500円	
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪国際大会に出場するためには、少なくとも1年以上の準備期間が必要となるべく早い準備開始が好成績を残すためには必須です。大会出場を目指す全ての職種の方を対象に、国際大会に精通している講師が、国際大会の現状とその動向、選手やエキスパートの育成に向けた取り組み事例を解説します。 (到達目標) ・技能五輪国際大会出場に向けた準備が効果的にできる。			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会や各種競技大会に関する基本的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 技能五輪国際大会の現状と動向 (1) 技能五輪国際大会とは (2) 技能五輪国際大会と全国大会の違い (国際大会とは何か、技能五輪全国大会と何が違うのか、などを一から分かり易く解説します)		2 H	
	2 技能五輪国際大会を目指すために (1) 技能五輪国際大会におけるエキスパート・コーチの役割 (2) 求められるスキル (3) エキスパートの在り方 (4) エキスパートの選定と育成 (エキスパートに求められるスキルを解説し、好成績を残すエキスパートの在り方について考察します)		2 H	
	3 技能五輪国際大会に向け準備すべき事項 (1) 準備すべき事項の整理 (2) 初参加者の事例紹介 (技能五輪国際大会に出場するためには何が必要か、どのように準備すれば良いのかを事例を交えて紹介します)		4 H	
	4 選手育成訓練の策定とポイント (1) 好成績を残す選手像 (2) 強化訓練の実際（金メダリストの訓練法を公開） (3) 訓練計画策定のポイント (4) 指導法のポイント（認知負荷軽減方略など） (実際の好事例により選手育成計画や指導法のポイントについて解説します)		1 H	1 H
	5 ディスカッション－効果的なエキスパートの育成に向けて－ (1) 事例研究 (2) 大会に向けた戦略の策定 (ディスカッション形式で、各職種の育成計画、戦略に関する取り組みについてアドバイスします)			2 H
			9 H	3 H
リニューアル の概要（変更 点）				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	大野成義（情報通信ユニット：技能五輪国際大会エキスパート） 菊池拓男（情報通信ユニット：技能五輪国際大会職種管理マネージャ） 遠藤雅樹（情報通信ユニット：技能五輪全国大会競技委員）			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6125	技能五輪国際大会に向けたコミュニケーション力強化法（基礎英語編）	平成30年 7月23日(月)～ 7月24日(火)	20	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料		
		6,000円		
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪国際大会に参加を目指す指導者、選手及び関係者等を対象に、国際大会で円滑にコミュニケーションができるよう必要な英会話、国際大会に必要な各種文書を読みこなす基礎力の習得を目指します。本研修は段階的（基礎編—用語編—応用編—実践編）に受講いただくことが効果的です。 （到達目標） ・技能五輪国際大会に必要な基礎的な英会話ができる。 ・技能五輪国際大会における各種文書を読解できる。			
最低限 必要な知識	高校卒業程度の英会話ができること。受講者のレベルに応じて研修を行います。			
研 修 内 容	項 目（予 定）	講義	実技・演習	
	1 技能五輪国際大会でのコミュニケーション （1）大会で必要となる英会話 （2）エキスパート・選手が行うコミュニケーション （技能五輪国際大会において、どのような場面でどの程度のコミュニケーション・スキルが求められるのかを詳しく解説します）	2 H		
	2 コミュニケーション・スキル （1）技能五輪国際大会で求められる議論法 （2）外国人とのコミュニケーションのポイント （3）通訳を通じたコミュニケーション法 （通訳を通じて外国人とコミュニケーションを円滑に行うためのポイントを習得します）	2 H	2 H	
	3 各種文書の読解 （1）職種定義の読解 （技能五輪国際大会が必要である各種文書を読みこなすための基礎力を習得します）		3 H	
	4 コミュニケーション・レッスン （1）大会会場にて （2）ディスカッション・フォーラムにて （大会本番に向けた実践的コミュニケーション・レッスンを行います）		3 H	
		4 H	8 H	
リニューアル の概要（変更 点）				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	.....	.....	.....	
担当教員 (ユニット)	菊池拓男（情報通信ユニット：技能五輪国際大会職種管理マネージャ） 待鳥はる代、熊谷由里子、半田純子（国際・地域支援ユニット）			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				



# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6126	技能五輪国際大会で好成績を残すために必要な実践的訓練法	平成30年12月18日(火)～12月19日(水)	20	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料		
		7,500円		
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪国際大会で好成績を残すために、どのような訓練が効果的なのか、どのような訓練計画を策定すれば良いのかなど、実際に国際大会で7連覇中の「情報ネットワーク施工」職種を実例にして、その全てを明らかにします。また、訓練現場の見学も行い訓練環境に関するディスカッションも行います。 （到達目標） <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能五輪国際大会で好成績を残すための実践的訓練計画を策定できる。</li> <li>・職種別強化委員会における強化策の実例について理解できる。</li> </ul>			
最低限 必要な知識	技能五輪国際大会に関する基本的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）	講義	実技・演習	
	1 「情報ネットワーク施工」職種の取り組み （1）訓練計画の策定法 （2）訓練の準備 （3）予算計画	3 H		
	2 職種別強化委員会における取り組み （1）職種開発・訓練チーム （2）職種開発への関わり （3）強化訓練への関わり （4）運営の実際	4 H		
	3 訓練施設見学 （1）訓練施設の見学 （2）取り組み事例の紹介	2 H		
	4 研修効果を職業訓練に展開するためのディスカッション （1）好成績を残すための戦略の検討 （2）意見交換（教材、指導法）	3 H		
		12 H	0 H	
リニューアル の概要（変更 点）				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	菊池拓男（情報通信ユニット：技能五輪国際大会職種管理マネージャ） 外部講師（技能五輪国際大会エキスパート、コーチ等を予定）			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6127	技能五輪国際大会に向けた職種別技術英語用語集の作成とコミュニケーション法	平成30年12月20日(木)	20	1
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料		
		6,000円		
研修のねらい及び到達目標	技能五輪国際大会に出場する関係者を対象に、通訳者及び他国エキスパートとのコミュニケーションに必要な職種別技術英語用語集の作成とコミュニケーション法を習得します。 [到達目標] ・ 職種別の技術用語が理解できる。 ・ 職種別の技術英語用語集を作成できる。 ・ 職種別の技術英語用語を正しく発音できる。			
最低限必要な知識	「技能五輪国際大会に向けたコミュニケーション力強化法（基礎英語編）」を受講した方又は同等の知識を有する方。			
研 修 内 容	項 目（予定）		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 ○本研修は通信活用研修となっており、概ね開講1か月前に課題が提示され、1週間前までに取組んだ結果を職業大研修課に提出いただきます。（事後課題は、閉講後2週間）提出された課題については、通信による添削又は集合研修で解説等が行われますので、課題の取扱い等の詳細については、事前に送付される実施通知をご参照ください。			
	1 技能五輪国際大会における通訳者とのコミュニケーション法 (1) 通訳者とのコミュニケーションの重要性 (2) 必要となる技術英語用語集 (大会で正しい通訳をしてもらうために必須な用語集の重要性を解説します)		1 H	
	2 技術英語用語集の作成のポイント (1) 通訳者が必要となる用語集とは (2) 作成方法 (効果的な用語集の作成のポイントを解説します)		1 H	
	3 職種別用語集の作成 (1) 職種別技術英語用語集の作成 (2) 用語添削 (職種別の用語集を作成し、翻訳チェックなどを行います)			2 H
4 技術用語の発音 (1) 用語の発音レッスン (作成した用語の正しい発音を習得します)			2 H	
			2 H	4 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	本研修は、通信活用研修となっています。事前（又は事後）を提出いただき、その評価結果と集合研修6時間の受講により修了要件を満たします。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	菊池拓男（情報通信ユニット：技能五輪国際大会職種管理マネージャ） 待鳥はる代、熊谷由里子、半田純子（国際・地域支援ユニット）			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト				

## 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6128	熟練技能者の職業能力開発とその指導法の実践 －技能五輪国際大会アクセスプログラムVA1対応－	平成31年 1月30日(水)～ 1月31日(木)	30	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料 7,500円		
研修のねらい 及び 到達目標	技能五輪国際大会に出場する選手の効果的な職業能力開発のためには、エキスパート、コーチ並びに関係者一同が協働して指導を行うことが重要とされています。そのためには、関係者一同が国際大会の最新情報やそのノウハウを得ることが必要です。 (到達目標) ・技能五輪国際大会における評価法、採点法について理解できる。			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会に関する基本的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)	講義	実技・演習	
	1 CPW(競技準備ウィーク)の最新情報 (1) 技能五輪国際大会の現状 (2) 新しい競技規則 (3) 大会の準備状況 (競技職種マネージャ(SCM)やチーフエキスパートなど各職種のSMT(職種管理チーム)が参加するCPWでの最新の情報をお伝えいたします)	2 H		
	2 国際大会に向けた情報収集と問題点の共有 (1) 技能五輪国際大会における情報の重要性 (2) ディスカッション・フォーラムの活用 (3) 実習: ディスカッション・フォーラムによる情報発信 (4) 各職種の問題点と情報共有 (国際大会で好成績を残すためには、いかに情報収集を行うかが大切です。各職種での問題点を共有し、その解決策等を実習を交えてアドバイスしていきます)		1 H	
	3 採点法－能力評価の実践－ (1) 技能五輪国際大会における採点方法 (2) Worldskills標準仕様(WSSS) (3) 実習: GISによる採点実習 (国際大会における採点法を熟知しなければ、好成績を残すことはできません。国際大会における能力評価法を実習を基に習得します)	2 H	3 H	
	4 技能五輪国際大会のための熟練技能者(選手)育成訓練の策定と実際 (1) 各職種の強化訓練の事例紹介 (2) 訓練計画策定のポイントと指導法 (3) 実習: 訓練計画の策定演習と指導に関する問題解決 (実際の好事例をもとに、選手育成計画や指導法のポイントについて実習を交えて解説します)	1 H	1 H	
	5 ディスカッション (1) 各職種の事例研究と情報交換 (各職種の事例を紹介いただくとともに、大会を目指すうえでの課題を共有し、その解決策を探ります)	2 H		
		7 H	5 H	
リニューアル の概要(変更 点)				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	大野成義(情報通信ユニット: 技能五輪国際大会エキスパート) 菊池拓男(情報通信ユニット: 技能五輪国際大会職種管理マネージャ) 遠藤雅樹(情報通信ユニット: 技能五輪全国大会競技委員)			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6129	技能五輪国際大会に向けたコミュニケーション力強化法（ロシア語・応用英語編）	平成31年 2月19日（火）～ 2月20日（水）	20	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）		受講料 6,000円	
研修のねらい 及び 到達目標	<p>技能五輪国際大会に参加を目指す指導者、選手及び関係者等を対象に、国際大会で円滑にコミュニケーションができるよう必要な英会話、国際大会に必要な各種文書を読みこなす基礎力の習得を目指します。また、簡単なロシア語の基礎も学びます。本研修は段階的（基礎編—用語編—応用編—実践編）に受講いただくことが効果的です。</p> <p>（到達目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能五輪国際大会で必要な基礎的な英会話ができる。</li> <li>・技能五輪国際大会における各種文書を読解できる。</li> <li>・簡単なロシア語が理解できる。</li> </ul>			
最低限 必要な知識	「技能五輪国際大会に向けたコミュニケーション力強化法（基礎英語編）」を受講した方又は同等の知識を有する方。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 実践！技能五輪国際大会でのコミュニケーション （1）大会で必要となる英会話 （2）エキスパート・選手が行うコミュニケーション （3）電子メールによるコミュニケーション （技能五輪国際大会における実践的コミュニケーションの方法を詳しく解説します）		2 H	
	2 ロシア語でのコミュニケーション （1）ロシア語の基礎会話 （2）ロシアにおけるコミュニケーション法 （ロシア国力ザン大会に参加するにあたり、簡単なロシア語会話、ロシア語表記（看板等）に慣れ親しみます）		3 H	
	3 各種文書の読解 （1）職種定義の読解 （2）競技規則の読解 （3）競技課題の読解 （技能五輪国際大会で必要である各種文書を読みこなすための基礎力を習得します）			2 H
	4 コミュニケーション・レッスン （1）大会会場にて （2）ディスカッション・フォーラムにて （3）電子メールにて （大会本番に向けた実践的コミュニケーション・レッスンを行います）			5 H
			5 H	7 H
リニューアル の概要（変更 点）				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 （ユニット）	菊池拓男（情報通信ユニット：技能五輪国際大会職種管理マネージャ） 待鳥はる代、熊谷由里子、半田純子（国際・地域支援ユニット） 外部講師			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				

## 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
6130	技能五輪国際大会本番を想定した選手・エキスパート等強化研修（実践英語編） －議論に負けない力をつける－	平成31年 3月14日(木)～ 3月15日(金)	40	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料 15,000円 (予定)		
研修のねらい 及び 到達目標	大会本番で、エキスパートはどのように自分の意見を伝えれば良いのか、選手はどのように質問すれば満足のいく回答をもらえるのか、など実践的なコミュニケーション・スキルを習得します。さらには、通訳を通じてコミュニケーションを効果的に図るための方法について、ネイティブ・スピーカーをチーフ・エキスパートに見立てたトレーニングを行います。 (到達目標) ・通訳を通じたコミュニケーションが円滑にできる。			
最低限 必要な知識	技能五輪国際大会に関する基礎的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)	講 義	実 技 ・ 演 習	
	1 第45回技能五輪国際大会の最新状況 (1) 技能五輪国際大会の最新情報アップデート (2) Test Project2019とMarking Scheme2019 (3) 大会参加に向けての準備 (第45回技能五輪国際大会の最新状況と競技課題・採点基準等の準備状況を解説します)	1 H		
	2 グループ・ディスカッション (1) エキスパート・シナリオトレーニング (2) 各職種の課題抽出と解決シミュレーション (エキスパートが大会で直面する問題事例を基に、それをどのように解決していけば良いのか、手順と方法について習得します。海外エキスパートにどのようにすれば自分の意見を伝えることができるのか、その方法についても事例を交えて解説します)	0.5 H	3 H	
	3 通訳を通じたディベート法の実践 (1) 技能標準とそのルール化 (2) 技能五輪国際大会におけるエキスパート間コミュニケーション法 (3) 通訳を通じたコミュニケーション法 (エキスパート・ミーティング、選手とエキスパートのコミュニケーションをシミュレーションし、通訳を通じたコミュニケーションや本番に向けた課題を洗い出します。エキスパート役のネイティブ・スピーカーを各グループ(日本人エキスパート5名程度)に配置し、共通のテーマに沿って議論を行う形のトレーニングです)	0.5 H	4 H	
	4 全体ディスカッション (1) 各職種の訓練状況と情報交換 (2) 大会に向けての問題点の共有と解決 (各職種の事例を紹介いただくとともに、大会を目指すうえでの課題を共有し、その解決策を探ります)			3 H
		2 H	10 H	
リニューアル の概要(変更 点)				
研修成果が 活用できる職 務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	大野成義(情報通信ユニット:技能五輪国際大会エキスパート) 菊池拓男(情報通信ユニット:技能五輪国際大会職種管理マネージャ) 待鳥はる代、熊谷由里子(国際・地域支援ユニット) 外部講師(ネイティブ・スピーカー、技能五輪国際大会通訳経験者)			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト				

# 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
4707	若年技能者の技能レベル向上のための指導法（ITネットワークシステム管理編）	平成31年 1月15日（火）～ 1月16日（水）	15	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	受講料 6000円		
研修のねらい及び到達目標	<p>若年技能者の技能レベル向上やモチベーションの維持・向上のために若年者ものづくり競技大会への参加を検討されている指導者を対象に、競技大会の目的とその動向、注意事項を明らかにするとともに技能者（選手）の育成にあたってのノウハウを習得することをねらいとします。</p> <p>（到達目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技大会を活用した若年技能者の育成ができる</li> <li>・若年技能者のモチベーションの向上や技能レベルの向上を図ることができる</li> </ul>			
最低限必要な知識	ネットワークとサーバ構築に関する基本的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）	講義	実技・演習	
	1 若年者ものづくり競技大会の目的とITネットワークシステム管理職種の現状と動向 （1）競技課題について （2）競技結果について	6 H		
	2 これまでの若年者ものづくり競技大会参加者の調査分析結果から （1）指導者の役割 （2）求められるスキル （3）好成績を残す選手像 （4）何を重視すべきか	3 H		
	3 ディスカッション （1）事例研究 （2）大会に向けた戦略		3 H	
		9 H	3 H	
リニューアルの概要（変更点）				
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	ネットワーク構築	クライアント機器の設定と調整	ネットワークの設定	
	ネットワーク構築	サーバ機器の設置と調整	ネットワークサービスの設定	
	ネットワーク構築	ネットワーク機器の設置と調整	ルーティングの設定	
担当教員（ユニット）	堀田 忠義、秋葉 将和、大村 光徳、遠藤 雅樹、大野 成義 （情報処理ユニット）（情報ネットワークユニット）（情報通信ユニット）			
使用する機器等	ルーター、サーバPC、クライアントPC（デモ用）			
受講者が用意するテキスト（予定）				

**職業能力開発総合大学校 職業訓練指導員研修  
『平成30年度 研修コース受講申込書(民間教育訓練機関等用)』**

お申し込みは、下記の送付先に本申込書をFAX又はメールにてご送付ください。申込書の電子データは当校ホームページ(<http://www.uitec.jeed.or.jp/teacher/>)に掲載しています。

職業能力開発総合大学校 研修部研修課

FAX送付先:042-346-7478

メール送付先:ptu04@uitec.ac.jp

**※受講をキャンセルされる場合は、研修開講日の1週間前までに必ずご連絡ください。**

●受講希望コース

(ご希望のコース番号、受講日とコース名を記入してください。)

コース番号		受講日	年	月	日( )~	月	日( )
コース名							

●勤務先及び人材育成担当者(資料送付先)

会社名							
所 属							
ご担当者氏名							
電話番号							
FAX番号							
E-Mail							
所在地	〒						

●この研修をどちらでお知りになりましたか(次のA~Fの記号を記入してください)

A 職業大のパンフレット B 職業大のホームページ(ネット検索) C 当機構都道府県支部等からの紹介	D 友人・知人・取引先等からの紹介 E 職場からの指示 F その他( )	回答欄
--	--	-----

●受講希望者

フリガナ 氏 名	性 別	生 年 月 日	受講対象 区分※	備 考
		昭和・平成 年 月 日		
		昭和・平成 年 月 日		
		昭和・平成 年 月 日		

※ 受講対象区分(次のA~Fの記号を必ず記入してください)

A 職業能力開発指導者 B OJTリーダー(教育・指導的立場の方) C 職業訓練指導員免許所持者	D これから職業訓練を担当予定の方 E 民間教育訓練機関等に指導助言を行う方 F 訓練生の就職支援に取り組む方
--	---

◎申込書を受付けましたら、3日(平日)以内に受付のご連絡をいたします。

◎開講の概ね1~2ヶ月前になりましたら、受講料関係書類及び留意事項等を郵送又はE-mailにてご連絡します。

◎独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。ご記入いただいた個人情報は指導員研修の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構のサービスの案内並びに各種調査の実施に利用させていただきます。

**独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構**

**職業能力開発総合大学校 研修部研修課 東京都小平市小川西町2-32-1 TEL:042-346-7234**